

保育所 公表日 R7.3.1

作成者:施設長 江渕 景子

※ 今年度のえぶちにしや園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入する。

- ・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
- 項目毎ごとに意見・改善策があれば記述する。

A : たいへんよい
 B : よい
 C : 一部検討を要する
 D : 改善を要する

項目

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容					
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			保育所保育指針に則って全職員が意識をもって子ども達一人ひとりに合わせた保育を行えるように努めた。 人権に配慮した目標を掲げ、園舎全体で「不適切保育」に対しての意識を高めた。「不適切保育」に対して職員が主体となり発信できる機会が少なかったため、全体で問題点や疑問点に対して対応できるような法人を目指していく必要がある。
	(2)目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。			○		
	(4)目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。					
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			0～2歳児クラスでは保育環境を整えよりよい保育が行えるよう改善に向け動き出すことが出来た。 3～5歳児クラスでは遊び環境や配置を見直し、改善した。その都度子ども自ら選択し伸び伸びと遊び込む事が出来るよになっている。 引き続き園全体として遊びを主とした主体性に繋がる環境構成について学びを深めたい。
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4)素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1)1日の流れ(デイリー プログラム等)は現行でよいか。		○			ゆとりある流れとなるよう、各クラス見直しを行い改善に努めた。一人一人の子どもに寄り添う保育を実践していくには更なる検討が必要である。
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。		○			SDGSや食育を毎月実施した。子ども達が分かりやすく理解できるように取り組んだ。 保護者参加行事では、親子フェスティバル(運動発表)、お楽しみ会(発表会)、誕生会参観、英語参観、個人面談、保育者参加・参観等の行事を設定し、日常の保育活動から成長を共有できるように努めた。 今年度から保護者からのアンケートをデジタル化し、保護者の負担を軽減するとともにデジタル化したことで多くの意見が得られるようになった。 今後も引き続き、行事特有の特別感は大切にしながらも、日々の積み重ねの中にある成長を保護者と共有し、喜び合えるような行事にしていきたい。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしている		○			
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。			○		

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営	体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		適材適所の人材配置と一人一人の子どもたちと丁寧に関われるように配置基準より多く職員の配置している。 1年間の役割分担(係)を事前に周知することで、新人育成も計画的に余裕を持ち実施することができた。	
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。			○	会議の形態を工夫することで、効率的に情報を共有することができた。 その反面、会議が情報の共有のみで終わり、今後についての議題や発展するような有意義な場とはなっていなかった。	
		(2)職員相互がそれぞれ全体の立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。			○		
		(3)打合せ回数、時間、内容は適切か。			○		
	組織	年齢別	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○		保育所保育指針を基に指導計画に反映して行っている。 クラス目標は臨機応変に子どもの様子に合わせ変更するなど細やかな対応が出来たが、一年の見直し持ち計画する必要がある。
			(2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○		
		クラス経営	(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○		「養護」と「教育」の研修を行ったことで、適切なねらいを設定し、保育を行うことができた。 昨年度の反省を活かし、各学年ごとのチーム保育だけでなく、異年齢や園舎を越えた園全体としてのチーム保育に着目し、環境や職員配置を検討することができた。
(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。					○		
(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。				○			
(6)評価、資料(諸記録)を集積しているか。				○			
保健安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。		○		保健、安全関係については、毎月救急対応訓練として課題に添って取り組んでいる。避難訓練等に関しては検討を重ね充実した内容に徐々に近づいている。 今年度も保護者参加型の引き取り訓練を実施予定であったが、急遽台風接近に伴い中止となった。事前に中止となった場合の代替案など検討しておく必要があった。		
	(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○					
	(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○					
	(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○					
研究・研修	所内研修	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		救急対応訓練を担当者が研究した上で他職員に研修として伝える取り組みを行っている。 担当職員がSDGS課題に取り組み、園児にも媒体を通して伝える取り組みを行っている。	
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。		○			
	所外研修	(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○		昨年度の反省を活かし、「不適切保育」「人権への配慮」など多岐に渡る園内研修、クラス内研修を実施することができた。新しい職員からも多数の意見が出されて、有意義な研修として設定することができた。	
		(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。			○		
所外研究・研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		例年は年間120回ほど実施し、報告書や日常会話の中で共有し保育に生かせるように心掛けている。 オンライン研修の導入により、午睡時間等の時間を有意義に利用し、研修に参加できるようにした。		
	(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			個人情報保護の規定を設定し行う。 今年度は個人情報やコンプライアンスについて学ぶ機会を設ける事が難しかったため、次年度に引き継ぎたい。
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				安全点検リストに従い実施している。又、玩具に関しては消毒や点検を使うごとに毎回行っている。引き続きコロナ禍が明けても消毒は徹底した。 今年度も年2回の不審者対応訓練を行い、試行錯誤しながら検討を重ね共通理解を深める事が出来た。 また女性が多い職場のため今年度は不審者に対応するために「さすまた」を購入し緊急時に備える対策を行う。 保護者参加型の引き取り訓練は今年度台風接近に伴い急遽実施することができなかったが、保護者への防災に関する働きかけは継続的に大切にしていきたい。
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			適宜実施している。
開かれた交流の場づくり	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。			○		乳児園舎、幼児園舎同士の交流や、姉妹園のえぶち保育園と同年齢や異年齢などさまざまな形態で交流を図っている。 近隣保育園との公園交流や、5歳児と川島小学校1年生交流2回、上菅田笹の丘小学校との1年生、5年生交流の年4回行った。 幼保小交流事業の一環として近隣保育園に出向き他施設での保育の進め方を学んだ。その後、幼保小会議で情報交換を行った。 今後もより良い関係性を築き、交流を続けたい。
	(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
	(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○				
	(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
	(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○		
家庭や社会との地域連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		月1回地域の高齢者と異世代交流やハロウィン行事では地域商店街に協力を頂きながら今年度も交流を行えた。 園外活動で出会う地域の方や親子に積極的に声をかけ交流しようと働き掛けたり、一時保育なども含め園の魅力の発信に努めた。 今年度は主に卒園児の「あったか食堂」の利用があった。 基本的に参加者が少ないため、周知方法を検討し見直していきたい。
	(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
	(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
	(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			

項目	内容	評価				7
		A	B	C	D	
開 か れ た 保 育 所 進 づ く り	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○			園庭開放、交流保育、育児交流を適宜行っている。 今年度は例年に比べ、参加希望の問い合わせが多数あった。
	子(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○			子育て相談や保護者支援について園以外の方へは検討が必要だが、在園児の保護者へは個人面談を導入し、保護者支援に努めることができた。
	支(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		日頃から保護者からの相談にはその都度対応し、園からも必要に応じて声を掛け、面談などで保護者支援の時間を設定している。
	の(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
	進(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				今年度実現できなかった、育児講座や交流活動等新たに内容を検討し、実現に向け調整していきたい。
情 報 の 発 信	(1)保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				ホームページに園だより・クラスだよりなどの情報を開示するとともに、保護者のアンケートなども今年度は追加し、施設の情報を開示・発信している。
	(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		保護者向けにドキュメンテーションを作成し、園の様子や子どもの様子を発信した。
外 部 評 価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			第三者評価を実施し施設運営に反映している。
	(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映している			○		
次 年 度 に 向 け て の 考 察	<p>今年度は姉妹園との合同行事の企画など行事内容の見直しを行い、姉妹園との交流の機会を多く設けることができた。また、今年度から行事アンケートをデジタル化(Googlefoam)を導入し、保護者の負担を軽減するとともに、簡易的にアンケートを記入できるようにしたことで、アンケートの回収率が上がり、より多くの保護者の方からご意見をいただくことができた。</p> <p>内容については肯定的なご意見が多かったが、内容の改善を求める意見もあった。</p> <p>日々の保育や行事も含めて「子どもの主体性を大切にしたい」という園としての考えをしっかりと知って頂くために更なる働きかけを園全体として行っていきたい。</p> <p>低年齢から配慮を必要とする子どもの増加に伴い、成長発達に関して適切なアドバイスや専門機関との連携、年齢や特性に沿った支援の仕方を学び実践する事ができた。また職員体制に余裕を持ち、「一人ひとりの子どもとの関わりを大切にすること」を心掛けた。今後もすべての子どもにとって安心して過ごせる環境を模索していきたい。</p> <p>当園では職員の質の向上へ向け、一人一人が自身と向き合い日々より良い保育ができる保育士を目指すべく努めている。今年度は職員の「保育の質の向上」に向けて園内研修・クラス内研修・個人研修とさまざまな形態での学びの場を設けることができた。</p> <p>昨今の社会情勢に目を向け、「不適切保育」「少子化」など保育のあり方について、考えさせられる日々であるが、当園に通う子ども、保護者、地域にとってよりよい保育園であり続けられるよう、当園で働く職員のこと大切にながら、今後も園全体として職員一同邁進していきたい。</p>					